

ものづくり補助金 ヒアリングシート HMO1(1) (自動車部品製造業)

社名	浜松自動車部品工業(株)	代表者	浜松次郎
住所	静岡県浜松市西区***	電話	053-587-****

ものづくり補助金 ヒアリングシート	個別シート
<p>(1) どのような新しい事業(革新的な事業)を考えていますか</p> <p>レーザー加工機導入により自動車部品加工の生産性と品質向上を図る。また、難削材加工も可能になることを活用して、三品産業分野に進出することでEV化後の成長戦略とする。</p>	<p>・補助事業名【KM03】</p>
<p>(2) 他社に比べて自社の商品の特徴や技術的な強みはありますか</p> <p>①商品の特徴・・・Tier1/Tier2 部品メーカー向けに、板金・組立て型の自動車部品や部品メーカー用の架台・制御ボックスを供給</p> <p>②技術や技能・・・金属部品の切断・曲げ・溶接・仕上・塗装の工程を一貫生産</p> <p>③売上や利益は・・・継続的なコストダウンを親会社から要求されるが、それを上回る生産性向上で売上・利益とも実現。</p>	<p>・過去の売上推移【KM01】</p> <p>・過去の利益推移【KM01】</p> <p>・商品の特徴は【KM01】</p>
<p>(3) 顧客はだれでしょうか</p> <p>①顧客・・・直接の顧客Tier1~Tier2の自動車部品メーカー</p> <p>②地域は・・・静岡県とその周辺各県</p>	<p>・市場は【KM11】</p>
<p>(4) 革新的な製品やサービス(補助事業)とは何でしょうか?</p> <p>①新規補助事業のタイトルを30文字で書くと(キャッチコピー)・・・</p> <p>レーザー加工機導入で難削材を含む部品加工の生産性・品質向上</p> <p>②課題は何でしょうか・・・</p> <p>・コロナ禍で国内回帰している自動車部品製造需要を捉える為の生産性向上</p> <p>・EV化で部品点数が半減し仕事量が大幅減少した時に、三品産業(医薬品・化粧品・食料品)の仕事を獲得する為にステンレスやチタン合金等(難削材)の加工能力が必要</p> <p>③対策案はありますか・・・</p> <p>レーザー加工機の導入</p>	<p>・補助事業内容【KM03】</p> <p>・現状の課題【KM02】</p> <p>・課題の対策案【KM03】</p> <p>・効果予測【KM04】</p>
<p>(5) 補助事業のマーケットは</p> <p>①補助事業のマーケット(市場)は・・・2021年以降世界市場は成長を続けるが、2030年には部品点数半分のEV台数がエンジン車を上回る</p>	<p>・マーケット【KM11】</p> <p>・将来展望【KM12】</p>



<p>②設備投資等を回収できますか・・・コロナ禍で自動車部品生産の国内回帰傾向がある為、4～5年間で設備投資回収が可能。同時に、三品産業への進出に必要なステンレスやチタン合金等（難削材）の加工が可能となり、中期的にはW効果が期待できる。</p>	
<p><b>（６）補助事業の実施体制やスケジュールは</b></p> <p>①導入設備、又は新規補助事業は・・・  ファイバーレーザーマシンの導入</p> <p>②補助事業の実施体制・・・  社長をヘッドとした実施のためのチーム編成</p> <p>③補助事業のスケジュールは・・・  機械選定-発注-納入-試運転-検証・評価-トレーニング-本番活用までで、  8カ月</p>	<p>・導入設備【KM05】</p> <p>・開発体制【KM06】</p> <p>・導入スケジュール【KM06】</p>
<p><b>（７）補助事業の売上、利益は</b> (千円)</p> <p>①補助事業の売上計画・・・1年後：122,000 2年後：145,000 3年後：192,000</p> <p>②補助事業の営業利益計画・・・1年後：14,000 2年後：15,000 3年後：28,000</p> <p>③地域への波及効果（雇用等）・・・自動車部品生産の国内回帰を捉える為の生産性と品質向上を実現し、三品産業分野への進出も可能にすることにより雇用拡大を実現する。また、これは静岡県産業成長戦略にも沿った戦略である。</p>	<p>・補助事業の売上【KM12】</p> <p>・会社全体売上【KM13】</p>